

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

1番 矢野 公子 議員

1. みんなで育む”食と農のふる里 あさくら”創造について
 - (1) 朝倉市食料・農業・農村基本計画を市民のものとして広めていく手立てについて尋ねる。
 - (2) 食育と地産地消の推進について尋ねる。
 - ① 食育と地産地消の推進の具体的計画
 - ② 学校給食における地産地消の拡大
 - ③ 学校給食における食育の推進
 - ④ 学校給食における米飯給食の拡大
 - (3) 都市と農村の交流促進、グリーン・ツーリズムの推進をどのようにすすめるか。
2. 男女共同参画まちづくりについて
 - (1) 男女共同参画まちづくり条例ができて3年、男女共同参画のまちづくりは進んでいるか。
 - ① 進捗状況
 - ② 確実に進んだこと、進んでいないこと
 - ③ それらの実態に対しての今後の取り組み

2番 富田 栄一 議員

1. 朝倉市の公共交通は何を目指すのか
 - (1) 広い面積でそれぞれ違う交通体系で行うのか。又は幹線を軸とした交通体系を目指すのか。地域ごとにバラバラは許せない。
2. 朝倉市の観光の目指すものは何か
 - (1) 一体的観光政策の成果と見えてきた課題
 - (2) 拠点づくりと観光ルートづくり
 - (3) 入湯税と旅館・ホテルの固定資産税が原鶴温泉振興事業費に占める割合と商業地域指定をうけてのこれからの政策
3. 過疎債について
 - (1) 過疎債の考え方と平成21年度までの過疎地域振興策の成果と課題
 - (2) 目指す周辺地域

～ 昼 食 ～

3番 桑野 博明 議員

1. 2年目をむかえての森田市長市政について
 - (1) マニフェスト実行力アップについて(人・物・組織)

4番 平田 梯子 議員

1. 出前市長室設置について
 - (1) 市長就任後、まちづくりについて市民との懇談を「どのような団体」と「どんな形で」「何回」行ったか。
 - (2) 市民との懇談の必要性について見解を問う。
 - (3) 「協働のまちづくり」をするにあたって、必要なことは何であると考えているか。
 - (4) 市民との懇談を行う出前市長室の設置を望む。
2. 男女でつくる朝倉市について
 - (1) 朝倉市男女共同参画推進計画の平成21年度事業点検・評価はどのような形で行われたか。
 - (2) 評価の統一性はあるか。残された課題の周知はされているか。
 - (3) 政策・方針決定過程への男女共同参画について、具体的施策のクォーター制導入や、平成23年度までの目標値の35%以上到達への障碍となっているものは何か。
 - (4) クォーター制を導入しなければ、目標到達が困難と考えるが、23年度の努力点を問う。
3. チャレンジする子どもを育てるために
 - (1) 「子ども大学」の開設を試みてはどうか。
 - (2) 朝倉市で働いている若い外国人との交流や中国語学級の開設を望む

5番 村上 百合子 議員

1. 朝倉市都市計画について
 - (1) 道路整備、歩道のない通学路について
 - (2) 街灯と幹線道路の整備について
 - (3) 公園整備について
2. 水と環境保全について
 - (1) 市の可燃ゴミ袋について
 - (2) 犬のフン、不法投棄について
3. 観光推進について
 - (1) 市のホームページ・ブログ活用について
 - (2) 案内表示板の推進について

平成23年3月定例会 一般質問通告事項

3月3日（木）

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

1番 師岡 愛美 議員

1. 「朝倉市夢と緑を育む食料・農業・農村基本条例」について
 - (1) 条例制定のポイントは何か
 - (2) 条例推進に向けた対策について
 - (3) 朝農跡地活用との関連について
2. 「朝倉市男女共同参画推進計画」の進捗状況を問う
 - (1) 「平成21年度分事業点検・評価報告書」をどのように評価しているか
 - (2) 報告書に対する行政内部の分析はどの様に行われたか
 - (3) 24年度から5年間の推進のあり方について
3. 重点施策～地方分権時代に対応した新しい「朝倉」づくり～について
 - (1) 市民が利用しやすい市役所づくりとは
 - (2) 行政組織の改革はどこまで進んでいるか
改革の方向性
職員との意識の共有

2番 佐渡嶋 克己 議員

1. 合併から5年、朝倉市の均衡ある発展について
 - (1) 地域人口の偏在及び企業と雇用対策について
 - ① 地域人口の動態と雇用対策について
 - ② 企業誘致の現状と対応について
 - ③ 雇用者と求職者、その双方支援について
 - (2) 農林商工業の振興及び直売所の役割について
 - ① 朝倉市における農林業の振興について
 - ② 荒廃園の現状とその対策について・続編
 - ③ 朝倉ブランドの特産品づくりと農商工業が連携した取組み
 - ④ 直売所の果たすべき役割について

～ 昼 食 ～

3番 安陪 悟 議員

1. 人事行政について（人材育成）
 - (1) 市の発展及び活性化は職員の質の向上と組織の機能にあり、その視点に立って
 - ① 「朝鍛夕鍊」の考えで初任者研修のあり方を考える
 - ② 同質と異質の関係 異質を受け入れる組織なのか
 - ③ プロとしての使命感や倫理観、人間として生き生きとした職業意識に徹した組織なのか

- ④ 情報を共有できている組織なのか
 - ⑤ 管理職の背を見て育つ（人材育成）組織なのか
2. 市政全般について
 - (1) 市長及び副市長に問う
 - ① 職員の質と組織の機能についての認識は
 - ② 女性の管理職を積極的に登用し組織の活性化を
 - ③ 議会と執行部の関係について

4番 中島 秀樹 議員

1. スイゼンジノリの保護について
 - (1) 平成23年2月9日付西日本新聞の一面に掲載された記事「アトピーにサクラン有効」について市はどのようにとらえているか
 - (2) スイゼンジノリは朝倉市の重要な資産と考えることはできないか
 - (3) スイゼンジノリの産地である黄金川の水質・水量の改善ができないか
 - (4) スイゼンジノリは環境省のレッドリストで最も絶滅の恐れが強い「絶滅危惧1A類」に分類されている
 - ① 市はこのことを認識しているのか
 - ② 状況改善のため対策が必要ではないか
 - (5) 黄金川を観光資源として活用できないか
 - (6) 黄金川を自然保護の学習教材として活用できないか
 - (7) 基金の設置はできないか
 - (8) スイゼンジノリが日本の財産になると考えられないか

5番 井本 五男 議員

1. ダム行政について
 - (1) ダム凍結後の国の有識者会議並びに水資源機構の動向について
 - (2) ダム下流域河川環境検討会について
 - (3) 水源の森整備に対する関係団体の整備費負担に関する件について
 - (4) 佐田川の維持用水の確保に対する対応策について
2. 朝農校跡地利用について
 - (1) 県有地取得について
 - (2) 果樹園の裁判について
 - (3) 8月以後のスケジュール立案について
 - (4) 跡地及び施設等の活用計画について
 - (5) 跡地活用検討市民会議の設置について
 - (6) 機構改革及び組織改革について
 - (7) 維持管理体制について

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

1番 柴山 恭子 議員

1. 朝倉市の農業

- (1) 官民一体の朝倉農業づくり
 - ・六次産業化
 - ・特産物開発支援
 - ・農産物販路拡大
 - ・耕作放棄地対策

2. 朝農跡地

- (1) 利用計画について
一体利用になぜこだわるのか

3. 伝統・文化を教育の場で生かすという事

- (1) 教育長の考え
- (2) 学・社連携活動について
- (3) 市長の五色百人一首配置と生かし方

4. 子宮頸がんワクチン

- (1) ワクチン接種にむけての勉強会は行われたのか

5. 健康づくり

- (1) 甘木公園、散歩、ジョギングコースの整備について